

ボーリング柱状図

調査名 大野海岸早時地区海岸 海岸保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 3 2 6 3 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. No. 8		調査位置	広島県廿日市市大野早時			北緯	34° 18' 04.3224"					
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成29年12月18日～平成29年12月21日			東経	132° 17' 27.4202"				
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者				
ボーリング責任者				試験機	東邦D1-C			ハンマー	半自動型				
エンジン	ヤンマーNFD13			ポンプ	東邦BG-3C								
孔口標高	CDL	2.80m	角	180°	方	北	0°	地盤勾配	鉛直	90°	使用機種		
総掘進長	7.00m		度	0°	向	西	180°	水平		0°			

標尺	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		掘進	
										深	10cm毎の	打撃回数	N	深	試験名	深	採取		
m	m	m	図	区分	調	度	度	事		度	打撃回数/貫入量	値	m	及び結果	m	番号	方法	日	
1				砂質土	淡黄褐	非常に緩い		盛土。細～粗粒のまさ土。所々、φ3～10mmの風化した垂角礫や角礫が点在する。掘削水の逸水が不規則続く。	12/18	1.15	1	20	2	2		1.15	P-1	物理	12/18
2	0.80	2.00	2.00	硬湿り砂質土	淡黄褐	中々～緩い		埋土。細～粗粒のまさ土。φ5～30mmの角礫が混じる。	1.55	2.15	1	2	9	12	12	2.15	P-2	物理	12/18
3	0.30	0.50	2.50	玉石	淡灰	非常に密な緩い		護岸捨石。長さ30～40cmの硬い玉石で構成され、玉石間にはφ30～50mmの角礫と砂が混じる。玉石・礫の基質は花崗岩。掘削水は全逸水する。	2.45	3.00	貫入不能	50	50	50	50	2.45	P-3	物理	12/19
4	-1.10	1.40	3.90	シルト質砂	暗灰	非常に密な緩い		細～中粒砂。φ5mm以下の角礫や貝殻片が混じる。少量のシルト分を含む。	4.15	4.45	2	2	3	7	7	4.15	P-3	物理	12/20
5	-2.00	0.90	4.80	風化花崗岩	黄灰			軟岩1。中～粗粒のまさ状又はφ3～10mmの軟質な角礫状。カリ長石・雲母は細粒化するもの。角閃石は軟質な礫片状で残る。所々、岩片状で残るが、指先で押えると礫質土状に崩れる。	5.15	5.37	17	27	6	50	50	5.15	P-4	物理	12/20
6									6.05	6.15	50	50	50	50	6.05	P-5	物理	12/21	
7	-4.20	2.20	7.00						7.00	7.09	50	50	50	50	7.00	P-6	物理	12/21	